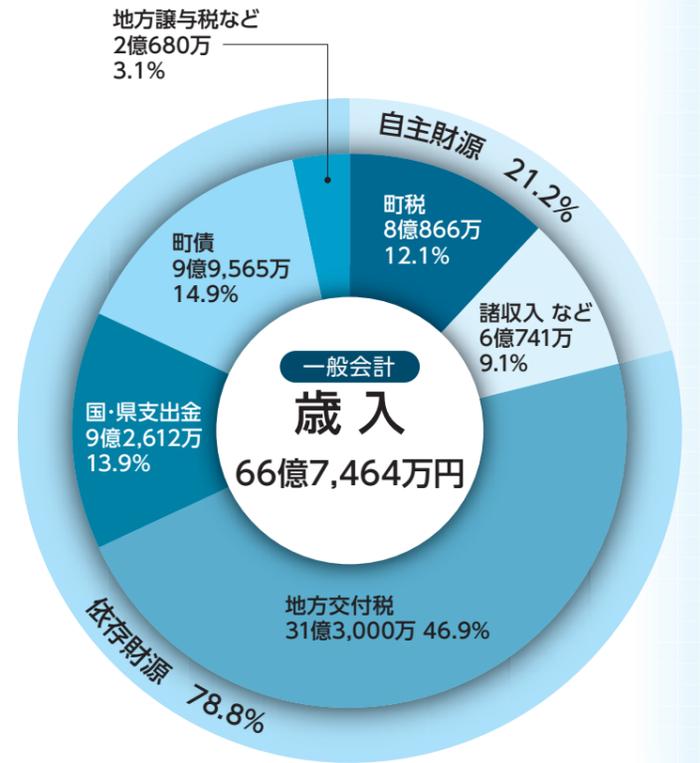


わたしたちの予算

平成26年度(予算特集) 一般会計予算

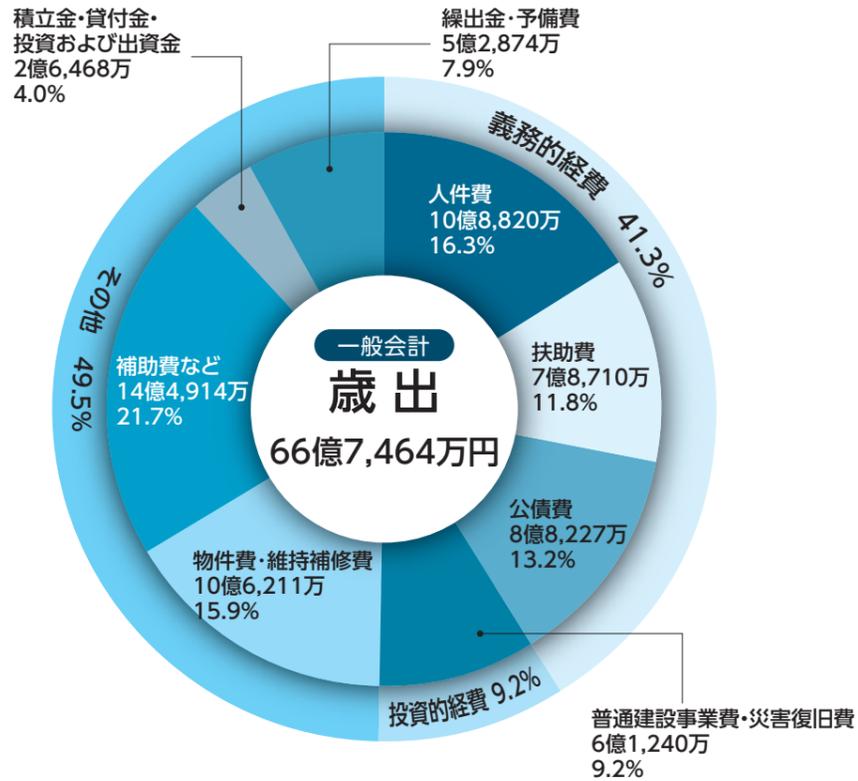
平成26年度和光町一般会計予算は、当初予算に6億8,745万円追加し66億7,464万円となりました。

増額の主な要因として、当初が骨格予算であったため未計上だった道路改良事業や町総合センター周辺造成事業を今回追加したためです。



歳入

- 【国・県支出金】**
国・県が使用目的を特定して交付
- 【地方交付税】**
所得税、法人税、消費税などの国税収入の一部を国が交付
- 【町債】**
公共施設の整備などのために借入金
- 【諸収入】**
財産貸付による財産収入や各種分担金、負担金、使用料



歳出

- 【扶助費】**
子ども手当や高齢者、障がい者、乳幼児の医療費助成費
- 【普通建設事業費】**
道路、橋梁、河川や公共施設の建設費
- 【物件費】**
委託料、消耗品、通信運搬費
- 【補助費など】**
各種団体への補助金、負担金



目的別

民生費

福祉・医療のために
16億7,606万円
25%
152,897円



総務費

行政運営のために
12億6,156万円
19%
115,085円



公債費

借り入れた借金の返済のために
8億8,227万円
13%
80,485円



教育費

学校や生涯学習のために
7億480万円
11%
64,295円



土木費

道路やまちづくりのために
7億956万円
11%
64,729円



衛生費

ゴミ処理や病気予防のために
6億1,877万円
9%
56,447円



農林水産業費

農林業の振興のために
3億4,399万円
5%
31,380円



消防費

消防や火災予防のために
2億2,355万円
3%
20,394円



商工費

商工業・観光振興のために
1億3,357万円
2%
12,185円



議会費

議会運営のために
9,711万円
1%
8,858円



災害復旧費

災害時の復旧のために
840万円
0.36%
766円



予備費

緊急時に備えるために
1,500万円
0.64%
1,368円



内訳の見方
目的
内容
予算額
構成比
町民一人当たりの金額(6月末日現在
人口10,962人で計算)

歳入について

歳入予算は、自主財源(町が独自にもつ財源)が21.2%、依存財産(国・県からの補助金など)が78.8%となっています。
自主財源である町税は、長引く経済不況が続いていますが、年少扶養控除廃止に伴う、住民税の増加により8億8,666万円【4,445万円増】で総額の12.1%となっています。

依存財産である地方交付税は地方公務員給与の削減などが現状に戻ることにより、31億3,000万円【6,000万円増】の46.9%、国・県支出金は学校建設計画の再検討に伴う国庫補助金の減や道路整備事業(補助)の減により9億2,612万円【3億8,406万円減】の13.9%、町債は学校建設計画などの再検討や道路事業の縮小により9億9,565万円【12億9,995万円減】の14.9%となっています。

歳入に占める依存財産が78.8%と依然として高く地方交付税、国・県支出金及び町債に多くを依存していることから、町税の徴収率向上や公有財産の有効利用で自主財源の確保に取り組んでいきます。

歳出について

歳出予算は、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)が歳出総額の41.3%、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧費)9.2%、その他(物件費、補助費など)49.5%となっています。
義務的経費の扶助費は、障害者総合支援給付経費や消費税アップによる低所得者への給付金給付事業の開始により7億8,710万円【3,274万円増】11.8%、公債費は、学校建設における起債償還が本格的に始まったため、8億8,227万円【1億2,054万円増】13.2%、投資的経費である普通建設事業費及び災害復旧費は菊水地区の学校建設計画の再検討などにより6億1,240万円【17億4,805万円減】9.2%、物件費・維持補修費は、ほぼ前年度並みで10億6,211万円【404万円減】15.9%、補助費などは、光プロードバンド整備補助金の増により14億4,914万円【2億6,301万円増】21.7%、積立金貸付金・投資及び出資金は、2億6,468万円【4,562万円の減】4.0%、繰出金・予備費は、特別会計への繰出金で5億2,874万円【9,970万円減】7.9%となっています。

※【】は前年度予算との比較です。
%は予算全体に占める割合です。